

# 日本語のテモラウの韓国語辞典における取り扱いについて

谷 守 正 寛\*<sup>1</sup>, 林 田\*<sup>2</sup>

## On Japanese -*Te Morau* in Korean Dictionaries

TANIMORI Masahiro\*<sup>1</sup>, LIM Jeon\*<sup>2</sup>

キーワード：テモラウ，授受動詞，補助動詞

Key Words: -*Te Morau*, Verbs of Giving and Receiving, Auxiliary Verb

### 1. はじめに

次のような「～てもらう」という表現を含んだ会話は日常よく耳にするものである。

「そんなにたくさんのみかん，どうしたんだい？」

「田舎のおふくろに送ってもらったんだ」

下線部に含まれる「もらう」という動詞は授受動詞であるが，日本語にはこの他にも「やる」「くれる」「(さし)あげる」「くださる」「いただく」といった授受動詞がある。もしもこうした授受動詞を使わずに上の会話をするとなるとたいそう不便を感じるに相違ない。つまり，日本語学習者たちは自然な日本語を習得する上でこうした授受動詞を避けて通ることができないといえよう。

さて，日本語ではどの授受動詞も「送ってもらった」のように補助動詞として使うことができる。一方，韓国語の授受動詞には「주다(やる，くれる，あげる)」，「받다(もらう)」，「드리다(あげる，さしあげる)」の3つしかない。ところが，興味深いことに，「받다(もらう)」だけが補助動詞として認知されていないのである(남・고(1998)，具(1995)，김(1982)，장(1998)，최(1937)など)。

次の文を見られたい。

(1) 친구는 내 맛있는 요리를 먹어 주었다.

(友だちは私のまずい料理を食べてくれた。)

(2) 나는 그녀가 남긴 것을 전부 먹어 주었다.

(私は彼女の残したものを食べてあげた。)

(1)と(2)では「주다」が補助動詞として使われているが，韓国語においても文法的である。ところが次の文になると韓国語では自然な表現ではなくなるとされる。(なお，?は表現として不自然であることを示す。)

(3) 私はみんなにまずい料理を食べてもらった。

?나는 모두에게 맛있는 요리를 먹어 받았다.

\*<sup>1</sup>人間文化課程国際言語文化コース

\*<sup>2</sup>鳥取大学大学院教育学研究科教科教育専攻国語教育専修

このようなことから、韓国人日本語学習者にとって日本語の「～てもらう」（以下、「テモラウ」とする<sup>(4)</sup>）は馴染みにくい表現ともいえよう。しかしながら、韓国人の中にはこの表現を認容したり使用する者がいるのも事実であることが確認・報告されている（林（1999））。また、日本語のテモラウが韓国語においてどのように表現できるのかを検証すれば日本語と韓国語の微妙な言語学的違いが明らかにできよう。そこで、本稿ではとりあえず、身近な出版物としての韓国語の辞典を対象に、日本語のテモラウがどのように扱われているのかを調べ、テモラウの日韓対照比較を行うことにする。

## 2. テモラウの用法について

(4) 彼に花束をもらった。

(5) 彼に花束を注文してもらった。

(4)の「もらう」は本動詞であるのに対し(5)では補助動詞といえる。ところが、次のような文では「もらう」を明確に補助動詞とは認定しにくい側面がある。

(6) 私は社長に給料を精算してもらった。

つまり、これには「もらう」を本動詞として捉えれば「社長が給料を精算しそれを私がもらった」という解釈が論理的に可能であり、文の伝達内容も論理的にほぼ等価である。(6)の「もらう」は語感としては補助動詞と本動詞の中間的な位置にある。そこで、このように純然たる補助動詞とやや異なる性格の「もらう」を弁別するために次のようなテストを設ける。

(7) 私は社長が給料を精算してそれをもらった。

(7)のように、動作主の二格をガ格にし「それを」を挿入しても元のテモラウ文と論理的意味内容が等価に保たれる場合に、「もらう」を補助動詞の周辺的なものとみなすことにし、このテストを「モラウテスト」と呼ぶことにする。(5)についてモラウテストを行ってみよう。

(8) 彼が花束を注文してそれをもらった。

(5)では話者の代わりに彼が花束を注文したのであり話者がそれをもらったわけではないので、(8)とは文意を共有しない。もっとも(6)の場合も、ただ社長に精算作業を代わりにしてもらったという解釈が不可能ではないが一般的ではない。

韓国語ではモラウテストにパスする(6)の場合は表現できる。つまり、本動詞としての機能が残っている場合は韓国語でもテモラウが許容されるのである。すでに述べたように、韓国語では一般的にテモラウに相当する表現は認知されておらず、(5)のタイプは非文とされる。それでもこの表現を肯定的に捉える少数の立場があるのも事実である（中島・文（1986）、黄（1994）、邇（1993））。以下、(5)のタイプがどのように訳されるかを辞典の説明を見ながら、テモラウに相当する韓国語表現「～(어/아/해) 받다」の有用性を明らかにしていく。

さて、テモラウは謙讓の意味を含む。このような謙讓表現を好む日本人にとってテモラウは重要不可欠な表現のひとつであるに相違ない。今後、日韓の文化交流が進むにつれて、出版・放送等を通して韓国への日本語の流入が増えることは否定できまい。このテモラウが韓国語でどのように表現すべきかという問題は避けて通れない重大な問題となることは十分予想される。

### 3. 辞典におけるテモラウの扱い

#### 3.1 辞典における訳例

テモラウに関し25冊の辞典を調べたところ、テモラウの用法の記述が示されたものと示されていないものがあった<sup>(2)</sup>。テモラウの用法を示している辞典を次に挙げる。

- ①『日朝小辞典』1972, 大学書林. ②『エッセンス韓日辞典』1989, 民衆書林.  
 ③『現代日韓辞典』1984, 高麗書林. ④『新選日韓・韓日辞典』1982, 明文堂.  
 ⑤『朝鮮語大辞典』1986, 角川書店. ⑥『アシスト日韓辞典』1994, 時事英語社.  
 ⑦『エッセンス日韓辞典』1989, 民衆書林. ⑧『民衆엠펜스日韓辞典』1973, 民衆書林.  
 ⑨『最新日韓辞典』1997, 大同文化社. ⑩『例解新日韓辞典』1993, 民衆書林.  
 ⑪『コスモス朝和辞典』1988, 白水社. ⑫『日韓・韓日小辞典』1991, ハンリム出版社.  
 ⑬『Newコンパクト日韓韓日小辞典』1993, 三修社. ⑭『동아프라임日韓辞典』1990, 두산동아.

次に、上の辞典に載っているテモラウを含む表現例（以下「テモラウ文」とする）を表1にまとめた。なお、表記方法として、分りやすくするために「もらう」や「받다(もらう)」は「～」などで省略せずにすべて記載し、訳例は日本語に韓国語を続けて載せ、統一した。表1に挙げたテモラウ文には、「もらう」あるいは「받다」についての説明の中で記述されたものと、一般の動詞の項目の説明中の使用例として記されたものがあり、資料として見つけた40例を挙げる。

[表1：辞典におけるテモラウ文]

辞典番号	テモラウ文
①	教えてもらう 가르침을 받다/…してもらいなさい 해 달라고 하시오 お前に行ってもらおう 네가 가 주기바란다
②	教えてもらう 가르쳐 받다/助けてもらう 구조를 (도움을)받다 頭を刈ってもらいたい 머리를 깎고 싶다(깎아 주시오) お前に行ってもらおう 네가 가 줬으면 좋겠다/話をしてもらおう 이야기를 하게 하다 うんと勉強をしてもらおう 열심히 공부하게하다/運賃を払い戻してもらおう 운임을 되돌려 받다
③	教えてもらう 가르침을 받다(배우다)
④	教えてもらう 가르침을 받다/手伝ってもらおう 거들게 하다
⑤	…してもらおう 해 받다/弁護してもらおう 변호해 받다/行ってもらおう 가게 하다 医者に見てもらおう 의사에게 보이다
⑥	兄さんに宿題を見てもらおう 형님에게 숙제를 보아 달래다 静かにしてもらえませんか 조용히 해 줄수 없을까요?
⑦	紹介状を書いてもらう 소개장을 써 받다
⑧	教えてもらう 가르쳐 받다/助けてもらう 구조를 (도움을)받다 頭を刈ってもらいたい 머리를 깎고 싶다(깎아 주시오) お前に行ってもらおう 네가 가 줬으면 좋겠다/話をしてもらおう 이야기를 하게 하다 うんと勉強をもらおう 열심히 공부하게하다

⑨	仕事を手伝ってもらう 일의 조력을 얻다／書いてもらう 써서 받다 話してもらου 이야기 하게하다／教えてもらう 가르침을 받다
⑩	やってもらου …을 해 받다 航空ショーにつれていってもらった (아무가 나를) 항공쇼에 데려가 주었다 静かにしてもらえませんか 조용히 해 줄수 없겠습니까
⑪	私は母に朝鮮服を作ってもらった 나는 어머니에게 한복을 해 받았다
⑫	教えて(助けて) もらου 가르침(도움)을 받다
⑬	教えてもらου 가르침을 받다(배우다)
⑭	友に英語で手紙を書いてもらου 친구에게 영어로 편지를 써 달라고 하다 先方にごちらに来てもらου 상대방에게 이쪽으로 와 달라고 하다 ピアノを教えてもらου 피아노를 배우다

なお、「받다(もらう)」の説明に補助動詞としての記述がない辞典にも、「받다」を語の綴りの一部に含む動詞が見出しとして挙がっているものとして「되받다(返してもらう)」があった。その文例を次に付け加えておく。

(9) 한번 나누어 준 책을 되받아 왔다. (一度あげた本を返してもらってきた)

このように「받다」が補助動詞として扱われず、一語の綴りの中に組み込まれた形でのテモラウが韓国語では散在するようである。したがって、「받다」の文法的立場が整理・統一されていない様子がここでも窺えよう。

### 3.2 「教えてもらう」について

表1の40例のテモラウ文の中で「教えてもらう」が9例を占め、比較的安定した表現であると思われる。そこでここでは、この表現に限定して詳しく考察することにする。

辞典では「教えてもらう」という表現の訳し方にばらつきが見られた。次にその型を3つに分けて辞典番号とともに次に示す。

- A型 「가르침을 받다」(教えを受ける) …①, ③, ④, ⑨, ⑫, ⑬
- B型 「배우다」(習う) …③, ⑬, ⑭
- C型 「가르쳐 받다」(教えてもらう) …②, ⑧

このように「教えてもらう」には少なくとも3つの訳し方がある。とりわけ、「받다(もらう)」という動詞を補助動詞として表現したC型の「가르쳐 받다」という言語形式がすでに辞典においても表れていることも興味深い。こうした非文法的とされてきた言語形式が、実は辞典以外の出版物として新聞等でも観察されることを筆者はすでに確認しているが、本稿では辞典に限って考察するのでそれらについては現時点ではふれ得ない。

A型とB型は論理的意味を等しくするが、実は用法においては重大な相違点がある。

(10) 私は彼に日本語を教えてもらった。

(10)をA型によって表すと次のように日韓両言語ともに非文になる。(※は非文であることを示す。)

(11)\*나는 그에게 일본어를 가르침을 받았다.

\*私は彼に日本語を教えをうけた。

これは二重ヲ(을・를)格制限による<sup>(3)</sup>。したがって、A型には使用上の強い制限がある。これは「～てあげる」や「～てくれる」という表現が韓国語では容易にそのまま訳し得るのはまったく

異なり, テモラウ特有の問題である。ただし, B型を使った場合は次のように文法的である。

(12) 나는 그에게 일본어를 배웠다.

私は彼に日本語を習った。

もっともこの文では彼からの受益を表さず, ニュアンスが異なる。これをC型で表せば次のように, 論理的意味だけでなく日本語と同じニュアンスを表し得る。

(13) 나는 그에게 일본어를 가르쳐 받았다.

私は彼に日本語を教えてもらった。

次にB型の問題点を示す。

(14)\*나는 그에게 전화번호를 배웠다.

\*私は彼に電話番号を習った。

このように, 日本語のテモラウを韓国語の類義の代替動詞で言い換えるという方法では, 動詞のとるヲ格名詞の意味関係によっては非文になることが分る。言うまでもなく, この場合にはヲ格名詞が前接するために, 前述のようにA型を使っても次のように表現不能である。

(15)\*나는 그에게 전화번호를 가르침을 받았다.

\*私は彼に電話番号を教えをうけた。

ところが, C型のテモラウを使うことによって, (13)と同様に言語形式上も日本語のニュアンスも表すことができ, いずれの問題も次のように解決するという利点がある。

(16) 나는 그에게 전화번호를 가르쳐 받았다.

私は彼に電話番号を教えてもらった。

こうした表現上の便宜を考慮すると, 韓国語において非文法的とされたテモラウ文が実は有用な表現となる必然的理由があると言えよう。ここでは, 日本語の「教えてもらう」を表す韓国語の3つの型の言語形式のうち, 「もらう」を補助動詞として表すC型の「가르쳐 받았다」がもっとも生産的であることをみた。

### 3.3 テモラウ文の訳例について

3.2では「教えてもらう」の韓国語の辞典における扱いについてみてきたが, ここではテモラウに前接するさまざまな動詞を含めた表現例を, 前節の表現例も含めて, 対応する訳例とともに吟味する。意味・機能的に近いものは同じ型としてまとめると次の8つの型 (I ~ VIII) があった。

[表2: 辞典におけるテモラウ文の訳例のタイプ]

型	訳の形式	テモラウ文の訳例
I	~해 받다 (~してもらう)	<p>教えてもらう 가르쳐 받다</p> <p>運賃を払い戻してもらう 운임을 되돌려 받다/~してもらう ~해 받다</p> <p>一度あげた本を返してもらってきた 한번 나누어 준 책을 되받아 왔다</p> <p>私は母に朝鮮服を作ってもらった 나는 어머니에게 한복을 해 받았다</p> <p>~をやってもらう ~을 해 받다/書いてもらう 써서 받다</p> <p>紹介状を書いてもらう 소개장을 써 받다</p> <p>(弁護)してもらう 변호해 받다</p>
II	~을 받다 (~を受ける) ~을 얻다 (~を得る)	<p>教えてもらう 가르침을 받다/助けてもらう 도움을 받다</p> <p>助けてもらう 구조를 (도움을)받다</p> <p>仕事を手伝ってもらう 일의 조력을 얻다</p>

III	~해 주었으면 좋겠다 (~してくれたらうれしい) ~해 주기 바란다 (~してほしい)	お前に行ってもらおう 네가 가 줬으면 좋겠다 お前に行ってもらおう 네가 가 주기 바란다
IV	~(를)~하게하다 (~(을) ~させる)	話してもらおう 이야기 하게하다/話をしてもらおう 이야기를 하게하다 行ってもらおう 가게 하다/手伝ってもらおう 거들게 하다
V	~를 해달라고 하다 (~をしてくれと言う)	友に英語で手紙を書いてもらう 친구에게 영어로 편지를 써 달라고 하다 先方にこちらに来てもらう 상대방에게 이쪽으로 와 달라고 하다 ~してもらいなさい ~해 달라고 하시오
VI	~해 주다 (~してくれる)	航空ショーにつれていってもらった (아무가 나를) 항공쇼에 데려가 주었다 静かにしてもらえませんか 조용히 해 줄수 없을까요?
VII	~를 배우다 (~を習う)	教えてもらう 배우다/ピアノを教えてもらう 피아노를 배우다
VIII	~를~하고 싶다 (~を~したい)	頭を刈ってもらいたい 머리를 깎고 싶다 (깎아 주시오)

IVに使役形「~(를)~하게하다 (~ (을) ~させる)」が表れているが、日本語の授受動詞は、補助動詞であっても、他の補助動詞とは異なって本動詞の持っている構造を保持しており、むしろ使役や受身の助動詞に近い側面がある(井島(1999))、また、使役文や受身文はテモラウ文と同じ埋め込み構造をなし、使役文については謙讓使役文と尊大使役文がある(奥津・徐(1981))という考えもあることから、テモラウ文は使役的な行為を謙讓的に表現したものに近い場合もあるために、IVのような使役の言い方にもなり得るのであろう。

日本語のテモラウを韓国語で表した言語形式がこのようにさまざまに使用されるのは、テモラウに対応する韓国語の言語形式が確立していないことの証左とも言える。上述したように、韓国語には「주다(くれる)」、「드리다(あげる)」、「받다(もらう)」の3つの本動詞に対し、補助動詞的用法としては「~어/아/해 주다」と「~어/아/해 드리다」だけであり、言語体系的には可能なはずの「~어/아/해 받다」が欠落する。これは言語体系における「偶然のすき間(accidental gap)」とも言えよう。そして、韓国語におけるこうした偶然のすき間を埋めるために、表2に挙げたさまざまな代替形式が使用されていることになる。

### 3.4 テモラウの韓国語代替形式について

日本語のテモラウを韓国語で表し得る代替の言語形式について、辞典を調査対象として8つのタイプを取り上げた。ここでは、これらの有効性について吟味し検証する。

表2に示した韓国語の諸形式のいくつかを簡単なテモラウ文の訳に使い、その文法性を検証することによって、テモラウの意味・機能をさらに明らかにする。なお、日本語例文中〈 〉内は韓国語におけるテモラウ「~어/아/해 받다」によって表現した文である。

まず、主体者の一般的な受益を表すテモラウ文を検証する。

(17) 私は彼に集合時間を教えてもらった。〈나는 그에게 집합시간을 가르쳐 받았다.〉

\*나는 그에게 집합시간을 가르침을 받았다. (\*私は彼に集合時間を教えを受けた)

?그가 나에게 집합시간을 가르쳐 줘서 기뻐다. (?彼が私に集合時間を教えてくれてうれ

しかった)

\*그가 나에게 집합시간을 가르쳐 주기 바랬다. (\*彼が私に集合時間を教えてほしかった)

\*그에게 집합시간을 가르치게했다. (\*彼に集合時間を教えさせた)

\*나는 그에게 집합시간을 가르쳐 달라고 말했다. (\*私は彼に集合時間を教えてくれと言った)

このようにいずれの韓国語文も元の文意からみれば非文か不適切な文となる。例えば、「教えてくれてうれしかった」かどうかは元の文から述べるには主観的すぎる。また「教えてほしかった」と言えば、ふつう、実際には教えてもらえなかったという含意があり元の文意とは異なる。一方、元の文では教えてもらったことが事実であると捉えられるが、「教えてくれと言った」と言えばその結果は不明である。なお、この文ではテクレル文に変換しても問題はない。

次に、動作主に対して話者が行為を要求するテモラウ文をみる。

(18) 君にその分きちんと払ってもらおうよ。〈너에게 그만큼 확실히 지불해받을꺼야.〉

\*니가 그만큼 확실히 지불해 준다. (\*君がその分きちんと払ってくれるよ)

\*너에게 그만큼 확실히 지불을 받겠다. (\*君にその分きちんと払いを受けよう)

\*너에게 그만큼 확실히 지불해 달라고 말할꺼다. (君にその分きちんと払ってくれと言おう)

?니가 그만큼 확실히 지불해 주기 바란다. (君がその分きちんと払ってほしい)

?니가 그만큼 확실히 지불해 주었으면 좋겠다. (?君がその分きちんと払ってくれたらうれしい)

너에게 그만큼 확실히 지불하게하겠다. (君にその分きちんと払わせよう)

最後の使役表現を除いて他の代替形式にはほぼ変換し得ない。要求表現としてのテモラウ文を願望表現で代替させるのも適切とはいえない。また、注目すべきはこうしたテモラウ文の場合はテクレル文に変換できないことである。

(19) お前にすべて弁償してもらおうつもりだ。〈너에게 전부 변상해 받을작정이다.〉

\*니가 전부 변상해 주기 바랄작정이다. (\*君がすべて弁償してほしいつもりだ)

\*니가 전부 변상해 주었으면 좋을작정이다. (\*君がすべて弁償してくれたらうれしいつもりだ)

\*니가 전부 변상해 줄작정이다. (\*君がすべて弁償してくれるつもりだ)

\*너에게 전부 변상해 달라고 말할작정이다. (\*君にすべて弁償してくれと言おうつもりだ)

\*너에게 전부 변상을 받을작정이다. (\*君にすべて弁償を受けるつもりだ)

너에게 전부 변상하게할작정이다. (君にすべて弁償させるつもりだ)

この場合も要求表現であるが、「つもりだ」という文末形式を伴い要求の意志表明を強く表した表現にしている。このようなテモラウ文ではやはりテクレル文が対応し得ず、さらに願望表現も非文となる。ただし、使役表現はこの場合でもなお代替表現として可能である。

次は自動詞を前接させたテモラウ文である。

(20) 私たちは1年生に集まってもらった。〈?우리들은 1학년에게 모여받았다.〉

\*우리들은 1학년에게 모임을 얻었다. (\*私たちは1年生に集まりを得た)

\*1학년이 모여 주었으면 좋겠다. (1年生が集まってくれたらうれしい)

\*1학년이 모여 주기바랬다. (1年生が集まってくれてほしかった)

\*1학년에게 모여 달라고 말했다. (1年生に集まってくれと言った)

?우리들은 1학년에게 모이게했다. (私たちは1年生に集まらせた)

1학년이 모여 주었다. (1年生が集まってくれた)

ここでも、テクレル文が安定した表現として代用できるのを除けば、すべて非文あるいは意味の異なる文となる。ただし、テモラウ文も自動詞が使われることによって不安定な表現となる(林(1999))ため、このような場合に限ってテクレル文が有効な代替表現として有用であるといえる。

話者(主体者)が不利益を受けた場合に使われるテモラウ文についてみる。

(21) 勝手に人の手紙を見てもらっては… (?마음대로 남의 편지를 봐 받으면…)

\*마음대로 남의 편지를 봐 달라고 해도… (\*手紙を見てくれと言っては…)

\*마음대로 남의 편지를 보는것을 받으면… (\*勝手に人の手紙を見ることを受けては…)

\*마음대로 남의 편지를 봐 주면 좋겠다고고는… (\*勝手に人の手紙を見てくれたらうれしいとは…)

\*마음대로 남의 편지를 보게했지만… (\*勝手に人の手紙を見させたが…)

\*마음대로 남의 편지를 봐주기 바랬지만… (\*勝手に人の手紙を見てほしいが…)

\*마음대로 남의 편지를 봐 주어도… (\*勝手に人の手紙を見てくれては…)

このように動作主の勝手な行動によって話者が被害・迷惑を被ることを表す場合には、韓国語の代替形式による表現はすべて非文法的となる。特にテクレル文への変換もできないことは注目したい。なお、テモラウ文も安定した表現とはいえない。

次は、受益でもなく不利益も受けないが相手の行動に対する話者の投げやりな態度・願望を示唆し表明する特殊なテモラウ文である。

(22) お前のような奴には勝手に行ってもらおう。(?너 같은 사람에게는 마음대로 가 받을꺼다.)

\*너 같은 사람에게는 마음대로 가 달라고 말하겠다. (\*お前のような奴には勝手に行ってくれと言おう)

\*너 같은 사람에게는 마음대로 가는것을 얻을꺼다. (\*お前のような奴には勝手に行くのを受けよう)

?너 같은 사람은 마음대로 가 주었으면 좋겠다. (お前のような奴は勝手に行ってくれたらうれしい)

?너 같은 사람에게는 마음대로 가 주기 바랄꺼다. (?お前のような奴には勝手に行ってほしい)

너 같은 사람은 마음대로 가게하겠다. (お前のような奴は勝手に行かせよう)

このような特殊な場合に、願望を表す文も意味的には近い場合もあるが、より文法的な文を実現する形式は最後の使役表現である。

さて、表2のⅧの型は「刈る」のような特殊な動詞に限って使うことのできる形式である。同じく身体の一部に受ける作用を表す次例を見られたい。

(23) あなたに肩をもんでもらいたい。

\*어깨를 주무르고싶다. (\*肩をもみたい。)

この場合には非文となる。ふつう「頭を刈ってもらいたい」と述べる時、実際に刈るのは話者ではなく床屋である。ところが、(23)においては肩をもむのは話者自身ではない。したがって、Ⅷの型は「刈る」のような特殊な動詞に限ってしか使えないことになる。

これまでみてきたように、日本語のテモラウを韓国語で表現する場合に、韓国語におけるテモラ



ウである「～어/아/해 받다」以外の言語形式で表し得るのは、個々の条件によってきわめて制限されることが分かった。辞典に示された表現例はごく限られた特殊なものであることが多く、多くのテモラウ文に適用し得るものではない。もっとも、韓国語におけるテモラウ「～어/아/해 받다」にも表現として不都合な場合があることも認められる。それは日本語においても基本的な意味から派生した用法の場合であった。いずれにせよ他の言語形式と比べるとこの表現がより生産的であり有用であろう。

#### 4. 前接する動詞について

テモラウについて説明のある辞典のうち、韓国語におけるテモラウに前接する動詞の制限性について述べたものがある。それによると、「一部の限られた語にしか用いられない」(『朝鮮語大辞典』1986, 角川書店)、「【ごく一部の動詞+】…してもらう」(『コスモス朝和辞典』1988, 白水社)といったぐあいに、制限が強いことに言及しているにとどまる。調査した辞典にみられた前接動詞としては、「する(やる)」、「弁護する」、「作る」、「教える」、「払い戻す」、「返す」、「書く」であった。

韓国語におけるテモラウ「～어/아/해 받다」に前接する動詞の制限について言及した中島・文(1986)によれば、新たに物を作り出す意味を持つ「쓰다(書く)」、「그리다(描く)」、「만들다(作る)」といった、いわゆる作成動詞に前接することが指摘されている。もっとも、作成動詞に限らないことはこれまでみたように確認できるのだが、少なくとも作成動詞が前接しやすいとすれば、それは本稿の提案するモラウテストにパスしやすいことと関係があろう。相手に何かを作成してもらうことは、作成後にそれを主体者が実際にもらい受けることが示唆されるからである。

しかし、3.1で挙げた(9)も、作成動詞ではない「返す」について、「返してもらう…」が「返して、それをもらって…」と言えるようにモラウテストにパスする。このことから、作成動詞でなくとも、辞典に例として挙げられるほどに許容される前接動詞が存在することも実証できたわけである。なお、どのような動詞に前接するのかは現時点ではこれ以上ここではふれ得ない。

#### 5. ま と め

本稿では、韓国語辞典において、見出しを「もらう」あるいは「받다(もらう)」とする項目の記述を調査することでテモラウの扱いについてみてきた。

その結果、日本語のテモラウは、韓国語のテクレルに限らず、使役形等を含む少なくとも8つの言語形式で代用されることが分かった。また、非文法的とされる「～어/아/해 받다(～ってもらう)」がすでに一部使われていることも観察された。辞典においてさまざまな言語形式が日本語のテモラウを表す形式として援用されていたことは、「～어/아/해 받다」が言語形式としては確立していないことを示す証左でもある。

それぞれの代替表現を検証した結果、韓国語におけるテモラウ「～어/아/해 받다」が、特殊な場合には使えないものの、もっとも有用である可能性が窺えた。この表現に対する先行研究は管見の及ぶ限りまだほとんどない。今後、日韓の活発的な文化交流を通じてより多くの日本語が翻訳される中で、日本語のテモラウが韓国語の翻訳に及ぼす影響がこれまでよりも大きくなると予想される。そうした場合、「～어/아/해 받다」がどのように認知されていくかをみていくことは、言語研究の立場からでなくとも興味深いことであろう。

## 注

- (1) テモラウは韓国語では確立していない形式であるため韓国語の「～(어/아/해)받다」をテモラウと呼ぶことは適当ではない。本稿中、日本語のテモラウをそのまま韓国語に訳した形式に言及する場合には、便宜上「韓国語におけるテモラウ」と言うことにする。
- (2) 「もらう」や「받다」の見出し項目の説明の中にテモラウについての記述のない辞典を次に挙げる。これらはすべて韓日辞典であった。日韓辞典はすべて記述のある辞典に含まれる。  
『例解新韓日辞典』(1996. 民衆書林), 『국민학교 민중새국어사전』(1992. 민중사람), 『最新ハングル大辞典(全2巻)』(1994. 語文閣), 『연세 한국어사전』(1998. 두산), 『韓日辞典』(1968. 高麗書林), 『新訂韓日辞典』(1994. 民衆書林), 『뉴에이스 韓日辞典』(1994. 金星出版社), 『現代朝鮮語辞典』(1967. 養徳社), 『朝鮮語小辞典』(1962. 大学書林), 『朝鮮語辞典』(1993. 小学館), 『동아 프라임 韓日辞典』(1994. 두산동아)
- (3) 韓国語においても을・를(ヲ)の二重使用には制限がある。ただし、  
오다가 시장에 들어서 사과를 두상자를 배달해 달라고 했다.  
帰りに市場に寄って、リングを2箱を配達してくれと頼んだ。  
のようにヲ格名詞の数量に付く場合には可能である。また、ヲ格名詞が後続するヲ格名詞の一部である場合にも可能であることが指摘されている(남기심・고영근 1998)。

## 参考文献

- (1) 최현배 (1937) 『우리말본』 경성연회전문학교출판부.  
 (2) 최단영 (1993) 「日本語授受動詞の研究」 경기대학교교육대학원 日語・日文学科修士論文.  
 (3) 黃順花 (1994) 「日本語の補助動詞「～してもらう」에 관한韓国語와의対照研究(1)—우리말 [해 받다]의使用範圍調査을中心으로」 『日本学報』 第33輯.  
 (4) 井島正博 (1999) 「魚は三枚におろしてあげます」 『日本語学』 18—12.  
 (5) 林 田 (1999) 「テモラウに相当する韓国語表現の許容の実態」 『平成11年度日本語教育学会第8回研究集会予稿集』 日本語教育学会中国地区研究集会委員会.  
 (6) 강현화 (1998) 『국어의동사연결구성에대한연구』 한국문화사.  
 (7) 김용석 (1982) 『국어 보조동사 연구』 배달말.  
 (8) 具鐘南 (1995) 『보조동사의統辭・意味研究』 전북대학교교육대학원 修士論文.  
 (9) 中島一裕・文燕友 (1986) 「日韓語授受表現の対照研究」 『国語表現研究』 第3号, 大阪教育大学国語学第1研究室.  
 (10) 남기심・고영근 (1998) 『표준국어문법론』 탑출판사.  
 (11) 奥津敬一郎・徐昌華 (1981) 「「～してもらう」とそれに対応する中国語表現—“清”を中心に」 『日本語教育46号』.

(2000年10月19日受理)